

堀田（青森山田高）巨人1位指名

武岡（光星高）ヤクルト6位

プロ野球ドラフト

プロ野球の新人選手選択会議（ドラフト会議）は17日、東京都内のホテルで開かれ、青森県関係では、青森山田高の堀田賢慎投手が巨人1位、八学光星高の武岡龍世内野手がヤクルト6位、青森大の蝦名達夫外野手がDeNA6位、八学光星高の伊藤大将内野手がソフトバンク育成3位で指名された。ドラフトの目玉だった岩手・大船渡高の佐々木朗希投手は4球団の競合の末、ロッセが交渉権を獲得。夏の甲子園準優勝の石川・星稜高の奥川恭伸投手は3球団の競合で、ヤクルトが交渉権を得た。

蝦名（青森大）DeNA6位、伊藤（光星高）SB育成

堀田は岩手県花巻市出。右腕で、今春の青森県大会で最速151km/hの本格派。優勝、東北大会8強に導いた。同校出身の1位指名は2005年にロッテから指



ヤクルトの6位指名を受け、笑顔でインタビューに答える武岡龍世内野手＝17日、八学光星高

【12ページに詳報、22ページに関連記事】

名された柳田将利投手、巨人からの指名は16年の堀岡隼人投手以来。武岡は徳島県吉野川市出



伊藤 大将

身。走攻守そろった選手で、光星高では主将を務め、今夏の甲子園8強入りの原動力となったほか、U-18日本代表にも選出された。同校選手のヤクルトの指名は、11年の川上竜平外野手以来となった。

蝦名は青森市出身、青森商高卒。今秋の北東北大学野球秋季リーグ戦で首位打者、ベストナインに選出され、同大の優勝に貢献した。

伊藤は大阪府寝屋川市出身で、光星高の不動の二塁手として活躍した。（金濱千優希）